

「観光まちづくり課(観光協会提供)」

○11月観光情報

【希望をめぐる4つの個展】

「果たして希望はあるのか」。今や多くの人が一度は抱いた感慨ではないでしょうか。紛争や戦争が起こり、コロナもいまだ収束していません。私たちは大きな時代の曲がり角に立っていると思います。遠藤昭、貝野澤章、下川勝、山口泉の各氏の個展を同時開催し、希望を抱きたいこの時代をいかにとらえ、希望を紡いだのか、希望とは何かを考えます。

日時:10月28日(土)～12月24日(日)

午前10時～午後6時(最終入場は午後5時30分まで)

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌平日が休館)

場所:足利市立美術館(通2丁目14-7)

入館料:一般710円(560円)、高校・大学生500円(400円)中学生以下無料

()内は20名以上の団体料金

交通:JR両毛線足利駅より徒歩で約10分

東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約10分

北関東自動車道足利ICより車で約15分

東北自動車道佐野藤岡ICより車で約40分

問合せ先:足利市立美術館 ☎0284-43-3131

【物外軒無料開放】

物外軒は、足利市指定文化財の茶室で、普段は一般開放をしておりますが、この時期は無料で参観できます。美しい秋色に染まる庭園の見学も合わせてお楽しみください。

期間:10月・11月の土曜、日曜、祝日

午前9時～午後4時

場所:物外軒(通6丁目3161-3、織姫公民館北側)

問合せ先:足利市教育委員会事務局文化課 ☎0284-20-2230

【光の花の庭 フラワーファンタジー2023】

東日本最大級500万球を超えるイルミネーションに彩られた幻想の世界。
夜景観光土が選ぶイルミネーションランキングでは7年連続で全国1位に輝きました。

100,000㎡の園内に500万球を超えるイルミネーションが瞬き、訪れる方々に毎年心温まる感動を与えています。

「光の花手水」や「光のバラ園」がパーク内を華やかに彩り、「光に包まれるフラワーキャッスル」もその鮮やかかつ繊細な光で訪れた人たちに大きな感動を与えます。神秘的な大藤棚も花びら一枚一枚をイルミネーションで再現しており、その美しさに、期間中は連日SNS等への写真の投稿が相次ぎます。

※期間・時間は変更の可能性がございます

日時:10月18日(水)～2月14日(水)

(平日)午後3時30分～午後8時30分

(土・日・祝)午後3時30分～午後9時

「観光まちづくり課(観光協会提供)」

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町607)

料 金:(夜間料金) 大人1,300円、小人700円

交 通:JR両毛線あしかがフラワーパーク駅より徒歩で3分

東武伊勢崎線足利市駅より車で約30分

北関東自動車道足利ICより車で約15分

東北自動車道佐野藤岡ICより車で約18分

問合せ先:あしかがフラワーパーク ☎0284-91-4939

【夜景サミット2023 in足利】

日本全国の夜景観光に取り組む自治体や民間事業者が一堂に会し、夜景観光に関する様々な情報を共有・発信します。

特別シンポジウムを皮切りに「夜景観光の成功事例」をテーマにした発表や第18回目となる「日本夜景遺産」の認定授与式など、充実した内容を予定しています。

日 時:11月2日(木)

午後12時(受付)、午後1時(開演)

場 所:あしかがフラワーパークプラザ 文化ホール(足利市朝倉町264番地)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約10分

JR両毛線足利駅より徒歩で約18分

北関東自動車道足利ICより車で約20分

問合せ先:足利市 産業観光部 観光まちづくり課

観光・ロケツーリズム担当 ☎0284-20-2165

【足利灯り物語2023】

足利灯り物語は、まちなかが紅葉や黄葉で美しく色づくころに開催され、史跡足利学校、鏝阿寺、足利織姫神社を中心にモダンな足利銘仙柄の行灯が並べられ、足利の秋の景色を幻想的に彩ります。

史跡足利学校では、ライトアップした花手水や和傘、竹灯りも秋の風景に彩りを添えます。

灯りがともった銘仙柄の行灯に映し出される足利の秋の風景は訪れる方々を夢の世界へと誘い、昨年も大変ご好評をいただきました。

日 時:10月28日(土)～11月12日(日)

午後5時～午後8時

場 所:史跡足利学校、鏝阿寺、足利織姫神社

料 金:500円(史跡足利学校、鏝阿寺共通券)

交 通:史跡足利学校・鏝阿寺 東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約15分

JR両毛線足利駅より徒歩で約10分

北関東自動車道足利ICより車で約10分

足利織姫神社 東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約20分

JR両毛線足利駅より徒歩で約20分

「観光まちづくり課(観光協会提供)」

北関東自動車道足利ICより車で約15分

問合せ先:一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000

【足利灯り物語コラボイベント】

〈路地まちアートランブル2023〉

歴史と文化の街・足利市で開催している「路地まちアートランブル」。

足利市内に点在する古民家や空き店舗などに美術作品を展示して、参加者がまちをめぐりながら、心も頭も揺さぶる出合いを楽しむまつりです。

日 時:10月28日(土)～11月5日(日)

昼の部 午前10時～午後4時

夜の部 午後4時～午後8時

場 所:昼の部 足利まちなか遊学館(足利のわかりやすい歴史館)など18会場

夜の部 5会場

問合せ先:路地まちアートランブル実行委員会 ☎050-5605-5489

〈足利の歴史と粋を味わう夕べ2023〉

足利市内で栽培・収穫されたそば粉を使用し、職人による手打ちそばを肉汁うどんとともに楽しみいただけるイベントです。

日 時:11月3日(金)～11月5日(日)

午後4時～午後8時 なくなり次第終了

場 所:鑢阿寺東駐車場(家富町2330)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約15分

JR両毛線足利駅より徒歩で約10分

北関東自動車道足利ICより車で約10分

問合せ先:一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000

〈あしかがほろ酔いウォーク〉

足利灯り物語×足利ほろ酔いウォーク開催店で、アルコールドリンクと料理のセットが、トライしやすい価格でお楽しみいただけるイベントです。

日 時:10月28日(土)～11月12日(日)

場 所:市内各所の飲食店

問合せ先:一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000

【足利織姫神社秋季例大祭】

足利織姫神社秋季例大祭は、かつて「織物のまち」として栄えた足利市のシンボルともいえる足利織姫神社の秋のお祭りです。

織姫山の中腹にあり、朱塗りの美しい神殿が目を引く足利織姫神社は足利の人気スポットとなっており、産業振興や縁結びを願う人たちの姿が絶えません。

「観光まちづくり課(観光協会提供)」

神社は、恋人の聖地及び日本夜景遺産にも認定されています。

日 時:11月3日(金・祝) (毎年11月3日)

午前9時30分～

場 所:足利織姫神社境内(西宮町3889)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約20分

JR両毛線足利駅より徒歩で約20分

北関東自動車道足利ICより車で約15分

問合先:足利織姫神社奉賛会事務局(足利織物会館内) ☎0284-22-0313

【鑱阿寺秋祭】

鑱阿寺秋祭は古くから「大日さま」として親しまれている鑱阿寺の秋のお祭りです。七五三の晴れ着を着たお子様連れのご家族も多く訪れ、本堂や大銀杏をバックに記念写真を撮る姿が絶えません。

日 時:11月3日(金・祝)

大護摩 午前10時30分・正午・午後1時30分・午後3時 (予定)

場 所:鑱阿寺境内(家富町2220)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約15分

JR両毛線足利駅より徒歩で約10分

北関東自動車道足利ICより車で約10分

問合先:鑱阿寺 ☎0284-41-2627

【第45回 JA足利まつり】

JA足利まつりは、野菜や果物のほか毎年様々なイベントが行なわれる、お子様からご年配の方まで幅広い年齢層の方が集い、大変賑わいます。

日 時:11月3日(金)、11月4日(土)

両日とも午前9時～午後3時30分

場 所:JA足利南支店(栃木県足利市上渋垂町745-3)

営経プラザ

野菜出荷センター

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約15分

JR両毛線足利駅より徒歩で約10分

北関東自動車道足利ICより車で約10分

問合先:JA足利本所 ☎0284-41-7151

【第46回足利尊氏公マラソン大会】

足利尊氏公マラソン大会は毎年11月第1日曜日に開催される足利の歴史や文化、自然を感じながら走るマラソン大会です。コースの高低差が10m以内、フラットで好タイムが狙いやすいとランナーからも好評で、毎年ゲストランナーを招待するなどして大会を盛り上げます。今年の大会をさらに盛り上げてくださるのは、足利みらい応援大使の堀優衣さんに決ま

「観光まちづくり課(観光協会提供)」

りました。

健脚自慢の方のみならず、走りながら足利のまち並みや風景を楽しみたい方も是非エントリーをお待ちしております。

(申込は終了しました。)

日 時:11月5日(日) 開会式 午前8時から ※雨天決行

種 目:ハーフ: 定員2000名

10キロ: 定員1500名

5キロ: 定員1000名

3キロ: 定員500名

3キロペア: 定員500名

場 所:足利ガスグラウンド(足利市総合運動場 陸上競技場)(田所町1123)

交 通:JR両毛線足利駅より徒歩で15分

東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約30分

北関東自動車道足利ICより車で約10分

問合先:足利尊氏公マラソン大会実行委員会

(足利市教育委員会事務局 市民スポーツ課内) ☎0284-20-2232

【第45回足利繊維まつり】

足利繊維まつりは「織物の町」として栄えた足利市ならではのイベントです。繊維製品の展示、手染め体験、布工作小物づくり、ギターコンサートなどが行われる予定です。

日 時:11月11日(土)

午前9時～午後5時

場 所:足利織物会館2階足利織物伝承館ほか

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約15分

JR両毛線足利駅より徒歩で約15分

北関東自動車道足利ICより車で約10分

問合先:足利繊維まつり実行委員会(足利織物会館) ☎0284-21-1511

【恵比寿講】(開催予定)

恵比寿講は、開運や商売繁盛を願う人々で毎年11月19日・20日に大変な賑わいをみせています。参道の両側には棒に縁起物の飾りの付いたお宝や熊手を商う「おたから市」の店が軒を連ね、景気のよい声で客引き合戦を演じます。境内ではお神樂が行なわれ、「えびす」「ひょっとこ」が笛・太鼓に合わせて踊り、来場者からは威勢の良いかけ声が飛び交います。

日 時:11月19日(日)・20日(月)(毎年11月19日・20日)

19日は午前10時から終日、20日は午後3時頃まで

場 所:西宮神社 (西宮町2931)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅・JR両毛線足利駅より車で約7分・徒歩で約30分

北関東自動車道足利ICより約15分

「観光まちづくり課(観光協会提供)」

問合先:西宮神社 ☎0284-21-6790

【第40回収穫祭(ココ・ファーム・ワイナリー)】

晩秋の週末、葡萄畑で出来立てのワインを楽しむ収穫祭は、毎年沢山の人で賑わいます。スペシャルゲストを招いての演奏会も開かれ、2日間にわたりたくさんのお客様が秋の日差しの下、ワインを手に思い思いの楽しいひと時を過ごされます。

ご予約は9月1日より開始されます。

日 時:11月18日(土)、19日(日) 雨天決行

午前10時～午後3時(開場午前8時30分)

場 所:ココ・ファーム・ワイナリー ころみ学園の葡萄畑(田島町611)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅、JR両毛線足利駅より収穫祭への会場へは、シャトルバスかタクシーなどをご利用ください。

問合先:ココ・ファーム・ワイナリー ☎0284-42-1194

【釋奠(せきてん)(市指定民俗文化財)】

釋奠は、足利学校(国指定史跡、日本遺産)では、毎年11月23日に開催されています。孔子とその高弟をまつる儀式で、現在は、東京の湯島聖堂など全国でも数か所だけに残っている大変珍しい行事です。

日 時:11月23日(木・祝)

午前10時

場 所:足利学校 孔子廟(昌平町2338)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約15分

JR両毛線足利駅より徒歩で約10分

北関東自動車道足利ICより車で約10分

問合先:史跡足利学校事務所 ☎0284-41-2661

花 情 報

開花時期は、気候等により若干前後する場合がありますので、お問合せのうえお出かけください。

問合先:一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000

足利市観光まちづくり課観光・ロケツーリズム担当 ☎0284-20-2165

あしかがフラワーパーク ☎0284-91-4939

【ハーブ】

1,000 m²のハーブガーデンには、様々なハーブが育ち、その色と香りが楽しめます。

時 期:5月～11月頃まで

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町 607)

【すいれん】

水辺の花の女王・熱帯性スイレン、紅・紫・白等の色鮮やかな花が涼やかに可憐に咲き誇

「観光まちづくり課(観光協会提供)」

ります。

時 期:熱帯性スイレン(～11月下旬)

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町 607)

【アメジストセージ】

2万株の紫色の花が咲き乱れます。

時 期:10月上旬～11月下旬頃まで

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町 607)

【いちょう】

樹齢約 550 年とも、約 650 年ともいわれる鑿阿寺の大銀杏は、栃木の名木百選に選ばれています。高さ 30 メートルを超えるこの大銀杏全体が黄金色に染まるその姿は圧巻です。鑿阿寺近くの足利学校や善徳寺の銀杏も見事に色付き、「中世の歴史薫るまち」と言われる足利の秋に彩りを添えます。

時 期:11 月上旬～11 月下旬

場 所:鑿阿寺(家富町)、史跡足利学校(昌平町)、善徳寺(大町)ほか

【もみじ・紅葉全般】

織姫公園のもみじ谷では、約 1,000 本のもみじやユリノキが赤や黄色のコントラストを描き、その美しさは訪れる人を非日常の世界へと誘います。

この時期は市内各観光名所で赤や黄色に染まる秋の景色をお楽しみ頂けます。

時 期:11 月上旬～11 月下旬(気候により変動があります)

場 所:足利織姫神社(巴町)、草雲美術館(緑町)、行道山浄因寺(月谷町)、
名草巨石群(名草上町)ほか

体 験

【八木節】

日本三大音頭の一つとされている、足利の郷土芸能「八木節」の公演資料をご覧頂いたり、実演を楽しんだりしてみませんか。(八木節の実演は10名以上の団体様で、事前予約をお願いしております。)

場 所:八木節会館(福居町580-1)

内 容:八木節の公演等

料 金:足利市八木節連合会へご確認ください

交 通:東武伊勢崎線福居駅より徒歩で約10分

JR両毛線足利駅より車で約15分

北関東自動車道足利ICより約20分

東北自動車道佐野藤岡ICより約20分

問合先:足利八木節連合会 ☎0284-71-1214

また、太平記館では「観光八木節太平記館公演」として、足利市を訪れる観光客に、「八木節発祥の地・足利」を知っていただき八木節を通じて観光の振興を図るため、足利市八

「観光まちづくり課(観光協会提供)」

木節連合会の協力による八木節公演が行われています。

日 時:4月16日(日)～11月中旬の日曜日・祝日

午後2時～午後3時

場 所:太平記館南側駐車場(伊勢町3丁目 6-4)

行 事:八木節公演

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約15分

JR両毛線足利駅より徒歩で約10分

北関東自動車道足利ICより車で約10分

問合先:観光八木節実行委員会(足利市観光まちづくり課内) ☎0284-20-2264